



見ごろを迎えたツツジを鑑賞する観光客

### 満開のツツジを鑑賞 観光客ら初夏を満喫

6月5日から20日まで平庭高原つつじまつりが開催されました。

5日と6日は森のこだま館周辺で塩の道トレッキング、レンタサイクル、謎解きゲームなどが行われ、来場者は高原に咲くツツジとともにイベントを楽しんでいました。雫石町から家族と訪れた細川光子さんは「新聞でこのイベントを知りました。山や自然が好きなのですが平庭高原はなかなか来る機会がなかったので、きれいな風景が見られて良かったです」と語り、高原の初夏を満喫した様子でした。

### 町総体前期競技開催 2種目で町民が熱戦

6月6日、町民総合体育大会前期競技が社会体育館と総合運動公園で行われました。

総合開会式の選手宣誓では、6地区の体育振興会を代表し、北部地区体育振興会の八幡櫻さん（星野）が「コロナに負けず精一杯プレーします」と力強く宣誓。男子選手は「360歳ソフトボール」、女子選手は「ファミリーバレーボール」で競いました。

参加した選手たちは仲間の好プレーに拍手を送りながら熱戦を繰り広げ、スポーツを通じて仲間や相手チームとの交流を深めていました。



ソフトボールで熱戦を繰り広げる選手たち

### コロナ禍の結婚支援 婚シェルジュが研修

出会いサポート協議会（遠藤中会長）の研修会が6月8日に新町の旧遠藤邸で行われ、結婚支援を行う「婚シェルジュ」7人が参加しました。

講師は（一社）日本結婚支援協会代表理事の田口智之さん（盛岡市）で、感染症対策を講じながら実施する婚活イベントの事例を紹介しました。田口さんは「必ず飲食しなくても、工夫次第で出会いづくりができる。県や町が連携して運営する『i-サポ』を活用した相手探しも有効」と述べ、婚シェルジュはコロナ禍の結婚支援についてヒントを得たようでした。



田口さんから結婚支援の手法を学ぶ婚シェルジュの皆さん



源流の豊かな恵みと水災害の厄除けを祈願する皆さん

### 新たな参道を整備 馬淵川源流祈願祭

町観光協会（遠藤裕樹会長）は5月30日、袖山の馬淵川源流公園で馬淵川源流祈願祭を開催し、鈴木重男町長はじめ関係者約20人が出席しました。

同協会は、ぬかるんでいることが多かった源流周辺に本年度新たな参道を整備し、遠藤会長は「課題であった源流周辺の環境を改善できました。今後も町のシンボルである馬淵川の源流をしっかりと守りたい」とあいさつしました。出席者は、豊かな水の恵みに感謝し、水災害の無事を祈願しました。

### テレワーク施設整備 下町町内会で説明会

町が旧葛巻幼稚園舎を改修して、新たに整備する「テレワーク施設」の住民説明会が6月3日、総合センターで行われ、下町地区の住民などが出席しました。

テレワークは、インターネットなどを活用して本来の職場から離れた場所で仕事をするもので、都市部からの移住定住の促進が期待されています。出席者からは「町内会はどのように施設を利用できるのか」などの質問が出されました。町は今後住民の意見を参考にしながら施設整備を進め、今年度中の完成を目指します。



テレワーク施設の住民説明会の様子

### 小学生が寄席を鑑賞 落語で笑いあふれる

青少年劇場が6月4日、葛巻小学校体育館で開催され、町内の全小学校の児童約180人が3人の演者による寄席を楽しみました。

落語家の桂宮治さんが、祭り会場での親子のやりとりを描いた落語「初天神」を披露すると、子どもたちはあっという間に巧みな話術に引き込まれ、身を乗り出して聞き入っていました。

千葉歩美さん（江刈小5年）は「落語は右を向いたり左を向いたりして、多くの人を演じることが分かりました。たくさんの笑いをありがとうございました」と感想を述べました。



桂宮治さん（円内）の落語を夢中で聞く子どもたち